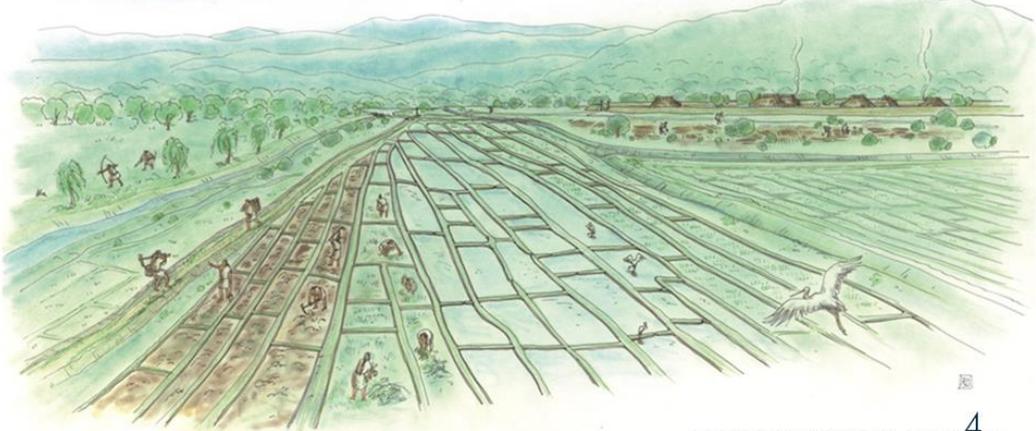


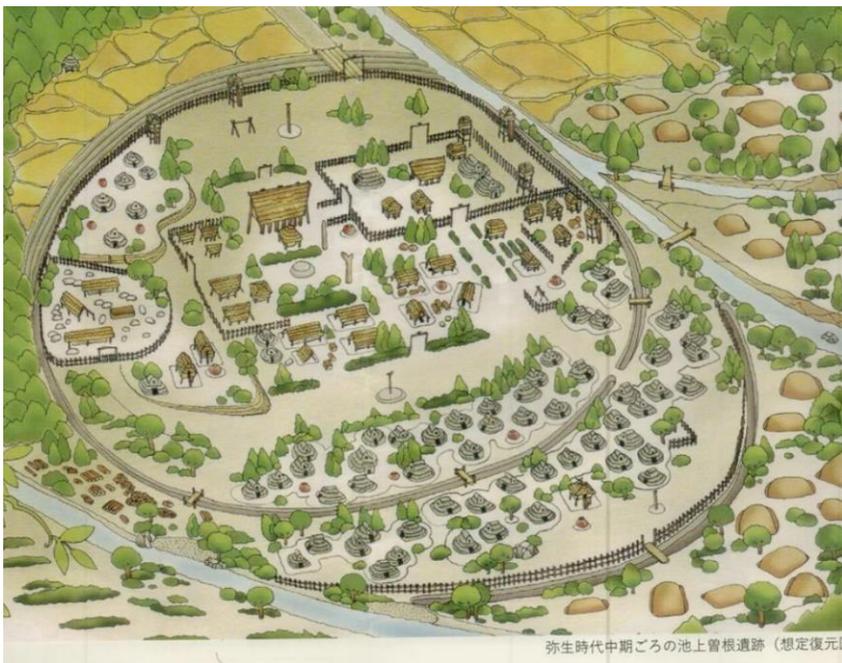
安満ムラの水田と環濠集落イメージ



4
弥生時代前期の水田と環濠集落イメージ（早川和子画）

4. 安満ムラの水田と環濠集落イメージ

- 1) 安満遺跡は、約 2,500 年前の弥生時代の環濠集落跡を含む、約 72 万㎡に及ぶ集落遺跡です。
- 2) 弥生時代の「クニ」の移り替わりを明らかにすることが出来る大変重要な大規模遺跡で、平成 5 年（1993 年）国の史跡に指定されました。
- 3) 居住域・生産域・墓域の三要素がコンパクトにまとまっており、弥生時代の暮らしをたどることが出来ます。
- 4) 下図は、弥生時代中期ごろの池上曾根遺跡の想定復元図です。



弥生時代中期ごろの池上曾根遺跡（想定復元図）

※集落の中央部には、重要な行事の場ではないかと思われる。その周辺には掘立柱建物が多く、集落の作業場であった考えられる。